

4年ぶりの「感動体験」

館岩少年自然の家 所長 新堀 栄

令和4年度の館岩少年自然の家並びに自然の教室を振り返りますと、最も大きな出来事として中規模修繕工事
 中の自然の教室の実施が挙げられます。

自然の家での宿泊や野外体験活動が実施できず、たかつえスキー場と南郷スキー場に活動場所を移し、宿泊施設は、特に冬季の中学校において、南会津郡内の7か所にも及びました。各学校におかれましては、実施計画の立案、実施に至るまで、大変なご心配とご苦勞をおかけしたものと存じます。所員も初めての経験で、手探りしながらの対応でした。

夏季は新型コロナウイルス感染症、冬季はインフルエンザの心配がりましたが、そのような中でも、4年ぶりに自然の教室が全ての市立小・中学校で計画通りに実施できたことは、大きな成果であり、大きな喜びです。改めて、野外体験活動の素晴らしさを感じ、集団宿泊活動を通して、規律、協力、助け合いの心を育て、よりよい人間関係を築くことの重要性を感じ得ることができました。

来年度も中規模修繕工事は続きますが、今年度の成果と反省をもとに、子ども達のため、精いっぱい努力してまいります。

○「活動コーナー」

1月から始まった自然の教室（冬季）は、3月13日（月）までに予定していた全ての中学校（57校）が無事に終わることができました。生徒は準備の段階から自然の教室をとて楽しみにしていたようです。本番では、スキー活動、雪国体験活動や係活動など、一人ひとりが自分のできることに一生懸命取り組み、とても充実した表情をしていました。

| たかつえ | 南郷 |
|---|--|
| <p>★馬宮中学校 1月28日（土）</p>  <p>班ごとの開講式では、自己紹介や指導者の挨拶があります。生徒は少し緊張した表情でした。</p> | <p>★三橋中学校 2月16日（木）</p>  <p>3日目は、笑顔でリフトに乗る様子が見られました。「本当に楽しかった」と話していました。</p> |
| <p>★大宮北中学校 2月7日（火）</p>  <p>生徒は指導者の話を真剣に聞き、繰り返し練習したので、自信をもって滑ることができるようになりました。</p> | <p>★上大久保中学校 2月16日（木）</p>  <p>雪質の違いを感じながら、スコップやバケツを使って雪を積み上げ、仲間と協力して雪像を作りました。</p> |
| <p>★本太中学校 2月13日（月）</p>  <p>初めてスキーをする班の1日目は、服装や道具の確認、スキー板の履き方、外し方、止まり方の練習をしました。</p> | <p>★大谷中学校 2月21日（火）</p>  <p>2日目は吹雪でしたが、生徒は、さいたま市では味わえない極上のパウダースノーを満喫しました。</p> |

○「活動プログラム紹介⑥～ゆきどうろう雪灯籠～」

※たかつえ・南郷両方で実施できるプログラムです

このプログラムは、積雪の時期にしかできない雪灯籠作りを通して、雪国の自然に親しみ、グループで協力して完成させる喜びを味わうことができます。雪をバケツに詰め込み、移植ごてで穴をあけて中をくりぬき、穴の中にろうそくを灯します。生徒の発想を活かし、創造性豊かな作品が出来上がります。

2月5日(日)に城南中学校、2月8日(水)に桜山中学校が雪灯籠を作りました。生徒が作ったたくさんの雪灯籠にろうそくを灯すと、幻想的な雰囲気になりました。



「雪灯籠を作っている様子」
城南中学校



「城南中学校の作品」



「桜山中学校の作品」



「雪灯籠に火を灯している様子」
桜山中学校

○「事後の変容から(一部抜粋)」

自然の教室(冬季)を実施した学校に、自然の教室前後で生徒にどのような変容が見られたかを回答していただいております。今回は、その中のいくつかを紹介いたします。

- ・各係に責任をもって取り組むようになった。
- ・仲間への声かけが多くみられるようになった。
- ・自分で調べてから、質問するようになった。
- ・教室に入ることができなかった生徒が、自然の教室に参加することができた。その後、通常の学校生活に前向きになった。
- ・スキー活動や雪国体験活動を通して、自然に関する話題が生徒の会話の中で出てくるようになった。

- ・週直の仕事をはじめ、自分の仕事が終わった後に、忙しい仕事をしている仲間を積極的に手伝おうとする場面が増えた。
- ・リーダーシップをとれる新たな生徒がでてきた。
- ・クラスの仲が深まり、授業等では、みんなで頑張ろうという雰囲気が強くなった。
- ・教室移動が多い時間割でも、余裕をもてるよう時間を意識して行動するようになった。



「食事係の様子」
与野東中学校



「雪国体験活動の様子(雪合戦)」
尾間木中学校



「スキー班長の様子」
大谷口中学校

○「自然探訪～2月・3月～」



4月の様子



2月の様子

「だらめきの滝」

だらめきの滝は、旧館岩村の木賊地区の渡戸橋上方約90mのところにあります。常に糸引く水がだらだらと落ちることから名づけられました。流れ落ちる清水は、陽光を浴びて七色の虹を描き、ときには花火が散るように美しく、南会津一の絶景と言われました。冬になると、見事な氷瀑が現れます。

(自然の家より徒歩12分)